



Red Hat OpenShift Service on AWS 4

アドオンサービス

Red Hat OpenShift Service on AWS クラスターへのサービスの追加

Red Hat OpenShift Service on AWS 4 アドオンサービス

Red Hat OpenShift Service on AWS クラスターへのサービスの追加

Enter your first name here. Enter your surname here.

Enter your organisation's name here. Enter your organisational division here.

Enter your email address here.

法律上の通知

Copyright © 2022 | You need to change the HOLDER entity in the en-US/Add-on_services.ent file |.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

本書では、OpenShift Cluster Manager コンソールを使用して Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) クラスタにサービスを追加する方法を説明します。

目次

| | |
|---|----------|
| 第1章 RED HAT OPENSIFT CLUSTER MANAGER コンソールを使用したサービスのクラスターへの追加 | 3 |
| 1.1. 前提条件 | 3 |
| 1.2. アドオンサービスのクラスターへの追加 | 3 |
| 1.3. クラスターにインストールされたアドオンサービスへのアクセス | 4 |
| 1.4. RED HAT OPENSIFT CLUSTER MANAGER を使用したアドオンサービスの削除 | 4 |
| 1.5. 関連情報 | 4 |
| 第2章 RED HAT OPENSIFT SERVICE ON AWS で利用可能なアドオンサービス | 6 |
| 2.1. AMAZON CLOUDWATCH | 6 |
| 2.2. RED HAT OPENSIFT API MANAGEMENT | 6 |
| 2.3. RED HAT OPENSIFT DATABASE ACCESS | 6 |
| 2.4. RED HAT OPENSIFT DATA SCIENCE | 7 |

第1章 RED HAT OPENSIFT CLUSTER MANAGER コンソールを使用したサービスのクラスターへの追加

Red Hat OpenShift Cluster Manager を使用して、Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) クラスターのアドオンサービスを追加、アクセス、および削除できます。

1.1. 前提条件

- Amazon CloudWatch サービスの場合は、最初に **rosa** CLI を使用して **cluster-logging-operator** をインストールする必要があります。

1.2. アドオンサービスのクラスターへの追加

Red Hat OpenShift Cluster Manager を使用して、既存の Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) クラスターにアドオンサービスを追加できます。

前提条件

- Red Hat OpenShift Service on AWS のクラスターを作成し、プロビジョニングしている。
- クラスターは、クラスターに追加するサービスに関するすべての前提条件を満たしている。
- 有料アドオンサービスの場合は、以下の考慮事項に注意する。
 - 組織に十分なクォータがあり、サービスがクラスターと互換性がある場合、サービスは OpenShift Cluster Manager に表示されます。
 - 組織にクォータがない場合や、クラスターの互換性がない場合、サービスは表示されません。
 - 組織が過去にクォータを持ち、クォータが現在 **0** の場合は、サービスが表示されたままとなりますが、追加のクォータを取得するまで OpenShift Cluster Manager では無効になります。



注記

サービスをクラスターに追加するには、クラスターの所有者である必要があります。

手順

1. [OpenShift Cluster Manager Hybrid Cloud Console](#) の **Clusters** ページに移動します。
2. サービスを追加するクラスターを選択します。
3. **Add-ons** タブをクリックします。
4. 追加するサービスオプションをクリックし、**Install** をクリックします。インストールアイコンが表示され、サービスがインストールを開始したことを示します。インストールが完了すると、サービスオプションに緑色のチェックマークが表示されます。ブラウザーを更新してインストールのステータスを確認しないといけな場合があります。
5. サービスが **インストールされた** ら、**View in console** をクリックし、サービスにアクセスします。

1.3. クラスターにインストールされたアドオンサービスへのアクセス

Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) クラスターにアドオンサービスを正常にインストールした後、OpenShift Web コンソールを使用してサービスにアクセスできます。

前提条件

- Red Hat OpenShift Service on AWS クラスターにサービスが正常にインストールされている。

手順

1. [OpenShift Cluster Manager Hybrid Cloud Console](#) の **Clusters** ページに移動します。
2. アクセスするインストール済みのサービスでクラスターを選択します。
3. **Add-ons** タブに移動し、アクセスするインストール済みサービスを見つけます。
4. サービスオプションから **View on console** をクリックし、OpenShift Web コンソールを開きます。
5. 認証情報を入力して、OpenShift Web コンソールにログインします。
6. メイン画面の右上にある 3x3 マトリックスアイコンをクリックして、**Red Hat Applications** メニューをクリックします。
7. ドロップダウンメニューから開くサービスを選択します。新しいブラウザタブが開き、Red Hat Single Sign-On で認証する必要があります。

これでサービスにアクセスでき、この使用を開始できます。

1.4. RED HAT OPENSIFT CLUSTER MANAGER を使用したアドオンサービスの削除

Red Hat OpenShift Cluster Manager を使用して、Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) クラスターからアドオンサービスを削除できます。

手順

1. [OpenShift Cluster Manager Hybrid Cloud Console](#) の **Clusters** ページに移動します。
2. 削除するインストール済みサービスでクラスターをクリックします。
3. **Add-ons** タブに移動し、削除するインストール済みサービスを見つけます。
4. インストール済みサービスオプションからメニューをクリックし、ドロップダウンメニューから **Uninstall add-on** を選択します。
5. 表示される確認メッセージで、削除するサービスの名前を入力する必要があります。
6. **Uninstall** をクリックします。**Add-ons** タブに戻ると、削除したサービスオプションにアンインストールの状態アイコンが表示されます。

1.5. 関連情報

- **cluster-logging-operator** および AWS CloudWatch ログ転送サービスに関する情報は、[ログインガードオンサービスのインストール](#) を参照してください。

第2章 RED HAT OPENSIFT SERVICE ON AWS で利用可能なアドオンサービス

[Red Hat OpenShift Cluster Manager console](#) コンソールを使用して、既存の Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) クラスターにサービスを追加できます。

これらのサービスは、[rosa CLI](#) を使用してインストールすることもできます。

2.1. AMAZON CLOUDWATCH

Amazon CloudWatch は、Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) から AWS コンソールにログを転送して表示します。まず、Red Hat OpenShift Cluster Manager コンソールで Amazon CloudWatch サービスをインストールする前に、[rosa CLI](#) を使用して ROSA の **cluster-logging-operator** をインストールする必要があります。

関連情報

- [Amazon CloudWatch 製品情報](#)
- [CloudWatch ログサービス](#) のインストール

2.2. RED HAT OPENSIFT API MANAGEMENT

Red Hat OpenShift API Management (OpenShift API Management) サービスは、Red Hat OpenShift Service on AWS クラスターのアドオンとして利用できます。OpenShift API Management は、管理対象の API トラフィック制御および API プログラム管理ソリューションです。3scale API Management プラットフォームをベースとしており、Red Hat ソリューションにおいて API のセキュリティー確保および保護ができるようにシングルサインオンを実装しています。

この OpenShift API Management エンタイトルメントには、以下が含まれます。

- Red Hat OpenShift API Management サービス定義に記載されているリソース要件を満たすクラスターを利用できる。
- 完全実稼働レベルのサポート。
- 使用時の制限はなし。
- 100k クォータ、または1日あたり呼び出し。クォータの高い OpenShift API Management サブスクリプションをご購入いただくことも可能。

関連情報

- [Red Hat OpenShift API Management](#) ドキュメント

2.3. RED HAT OPENSIFT DATABASE ACCESS

Red Hat OpenShift Database Access を使用すると、MongoDB Atlas、Crunchy Bridge、CockroachDB、Amazon Relational Database Service (RDS) などのパートナーが提供するサービスとしてのデータベース (DBaaS) を、管理対象の Red Hat OpenShift Service on AWS クラスターから直接簡単に利用できます。アプリケーションに接続するために、クラウドでホストされるデータベースインスタンスを管理、監視、および作成できます。

Red Hat OpenShift Database Access はサービスプレビューリリースです。サービスプレビューリリース

スには、開発の初期段階にある機能が含まれています。サービスプレビューリリースは実稼動環境に対応しておらず、完全にテストされていません。本番またはビジネスに不可欠なワークロードには RHODA を使用しないでください。

関連情報

- [Red Hat OpenShift Database Access](#) 製品ページ

2.4. RED HAT OPENSIFT DATA SCIENCE

Red Hat OpenShift Data Science (RHODS) を使用すると、ユーザーはデータと AI および機械学習ソフトウェアを統合して、エンドツーエンドの機械学習ワークフローを実行できます。これは、データモデルを開発およびデプロイするために必要なツールおよびライブラリーを含むノートブックイメージのコレクションを提供します。これにより、データサイエンティストはデータモデルの開発、モデルのアプリケーションへの統合、および Red Hat OpenShift を使用したアプリケーションのデプロイを容易に行うことができます。RHODS は、OpenShift Dedicated や Red Hat OpenShift Service on AWS (ROSA) などの Red Hat 管理環境へのアドオンとして利用できます。

関連情報

- [Red Hat OpenShift Data Science](#) のドキュメント
- [Red Hat OpenShift Data Science](#) 製品ページ